

平成27年度指定管理者運営状況検証シート

県所管課	企画振興部地域振興局文化・スポーツ振興課
------	----------------------

平成28年3月31日現在


1. 施設名等

施設名 (設置年月日)	萬翠荘 (大正11年)	所在地 電話 HP	松山市一番町三丁目3番地7 089-921-3711 http://www.bansuisou.org/
----------------	----------------	-----------------	--

2. 指定管理者

指定管理者名	株式会社ウイン	指定期間	平成26年4月1日 ~ 平成31年3月31日 (5年間)
--------	---------	------	---------------------------------

3. 施設の概要と指定管理者が行う業務等

設置目的	萬翠荘の公開 県民の文化の振興を図るため、各種の行事又は集会の用に供する。	施設の外観 
施設内容	展示室(9室)、駐車場(約20台)	
指定管理者が行う業務	①萬翠荘の事業の実施に関する業務 ②萬翠荘の利用の許可に関する業務 ③萬翠荘の利用に係る料金の收受に関する業務 ④萬翠荘の利用の促進に関する業務 ⑤萬翠荘の施設、附属設備及び備品の維持管理に関する業務	
施設の管理体制	<div style="display: flex; align-items: center; justify-content: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-right: 10px;">株式会社ウイン</div> <div style="margin-right: 10px;">—</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-right: 10px;">館長(非常勤)</div> <div style="margin-right: 10px;">—</div> <div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;"> <div style="font-size: 8px;">運営事務</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin: 2px;">係員(正規5名)</div> <div style="font-size: 8px;">本社事務</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin: 2px;">社員(正規1名、経理等)</div> </div> </div>	
利用料金等	利用料金制 <input checked="" type="checkbox"/> 採用している <input type="checkbox"/> 採用していない 前年度からの変更 <input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし (変更ありの場合、その内容) -	
開館日・開館時間	(開館日) 祝日でない月曜日が休館、それ以外が開館(観光シーズンにおいては、休館日においても開館の場合あり) (開館日時) 9時~18時	

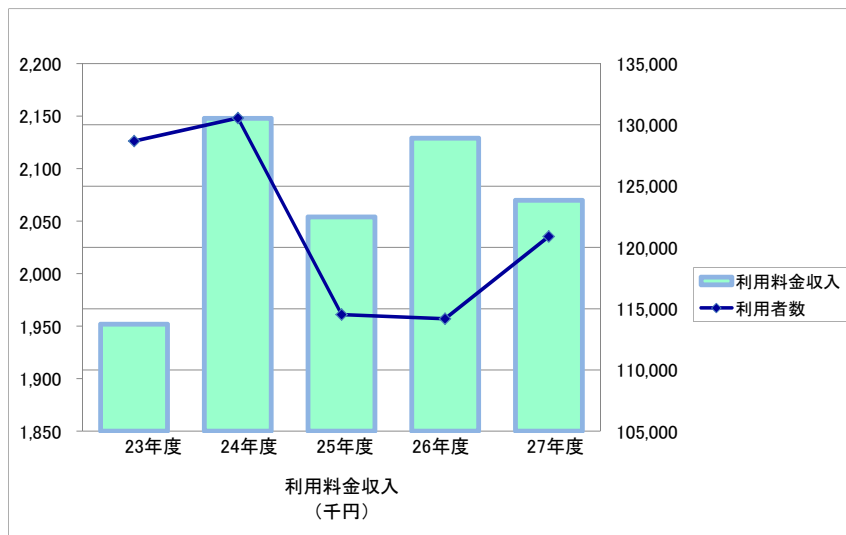
4. 指定管理業務に係る県の委託料(協定締結額)

年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
県委託料(千円)	13,060	12,716	12,372	14,624	14,624	14,624

5. 施設の利用状況

(1) 施設の利用者数と利用料金収入

年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	対前年度増減率
利用者数(人)	128,685	130,561	114,519	114,182	120,885	5.9%
利用料金収入(千円)	1,952	2,148	2,054	2,129	2,070	△2.8%



(2) 利用者数、利用料金収入の増減理由

対前年度増減率が±5%以上の場合、その理由

(利用者数)

松山への観光客入込数増加等による影響。

(利用料金収入)

6. サービスの質向上に向けた取組み

ア) サービス向上を図る主な取組み

(○は指定管理者制度導入以降、継続的な取組み、☆は新たな取組み、※は利用者からの要望による取組み)

平成27年度の内容	平成28年度の内容(予定含む)
<p>○自主企画による、萬翠荘・松山藩・久松家に関するパネル展示及びDVD放映。</p> <p>○自主企画イベントの実施 4月6日を「よむ日」と題し、地元アナウンサー等による朗読会を開催。</p> <p>○休館日については、坂の上の雲ミュージアムと調整の上、観光シーズンにおいては、月曜を閉館。また、夜間(18:00以降)の利用要望に対しても対応を行っている。</p> <p>○館内に音声ガイドを設置し、各所の見所を紹介。</p> <p>○観光案内所、各種交通機関、ホテル、旅行会社へのパンフレット配付による観光客誘致。</p> <p>○小中高校の課外授業や写生大会等の利用時には、館内見学を無料として郷土の歴史・文化に触れる機会を提供している。</p> <p>☆県の事業により、崩壊土砂防止網、屋外外灯を設置したため、より安全・快適な環境が整った。</p>	<p>【継続実施】 ○自主企画事業(パネル展示・DVD放映)の継続、新たな企画の立案。</p> <p>○4月6日(よむ日)イベントとして、朗読会を定期イベントとして定着させる。</p> <p>○休館日については、坂の上の雲ミュージアムと調整の上、観光シーズンにおいては、月曜を閉館。また、夜間(18:00以降)の利用要望に対しても対応を行っている。</p> <p>○館内に音声ガイドを設置し、各所の見所を紹介。</p> <p>○観光案内所、各種交通機関、ホテル、旅行会社へのパンフレット配付による観光客誘致の継続。</p> <p>○小中高校の課外授業や写生大会等の利用時には、館内見学を無料として郷土の歴史・文化に触れる機会を提供している。</p> <p>【新たな取組み】 ☆本館裏手の水路にホタルの幼虫を放虫し、市内における生息地として更なる知名度の向上を目指す取組み。</p> <p>☆県の事業により、防火水槽等の設置が行われることとなっている。</p>

イ) 利用者からの声への27年度の対応状況

利用者からの評価や苦情・要望の主な内容	利用者からの苦情・要望への主な対応状況
<p>○萬翠荘に関する知識、周辺観光施設の案内等、職員の対応に関しては高評価を得ている。</p> <p>○また、施設内の清掃・維持管理に関しても、行き届いているとの評価を得ている。</p> <p>○イベント開催時における、見学者側の施設の観覧が制限されること、イベント主催者・参加者の側からは、施設の扉の締切ができないことによる苦情が稀にある。</p> <p>※以下、今後の検討事項 ・外国人観光客の増加(特に台湾)に伴い、外国語表記のパンフレット作成の要望あり。 ・近隣施設との共通観覧券作成の要望あり。</p>	<p>○イベント主催者に対しては、観光施設・文化施設の両面での運営であることを事前に説明の上、理解を求めているものの、利用当日においてイベント参加者から苦情を受けるケースがあり、その際においても丁寧な対応に努めている。</p>

7. 27年度実績に係る施設の利用状況及びサービスの質向上に向けた取組みに関する確認・検証

指定管理者の自己検証	県の施設所管課の確認・検証意見
<p>○貸館利用実績は、利用件数 82件、開催日数ベースで262日(開館日数334日利用率78.4%)の状況となっており、1週間のうち5日は、何らかのイベントが開催されている状況にある。 定期利用者が多数存在することに加え、口コミにより新たな利用者も増えてきており、有効に利用されている。</p> <p>○職員の対応、施設の清掃維持管理に努め、来館者・利用者に対して、快適な環境の提供ができていると自己評価している。</p> <p>○自主企画イベントについては毎年同様のものが多く新鮮味に欠ける。 →新たな自主企画の立案・実施が必要と考えている。</p>	<p>○情報誌で定期的なイベント告知を行うなどの印刷媒体による宣伝・広報を行うとともに、フェイスブックにてイベントの様子を発信するなど、集客増加を図るため広報活動を充実させている。更なる広報活動に努めていただきたい。</p> <p>○松山観光ボランティアガイドとの連携により観光客向けに萬翠荘の案内・紹介を行うことで更なる知名度の向上につなげていっている。</p> <p>○重要文化財である萬翠荘の歴史を広く周知するためDVDの放映を実施している。今後とも、文化的価値を周知・保存するような施設運営に期待したい。</p> <p>○施設の故障については(トイレのつまり等)早急に報告・対応しており利用者が快適に施設を利用できるよう努めている。また、指定管理者と協議の上、冬場の日が短い期間でも安心して萬翠荘の庭園を散策できるよう外灯を設置した。</p>

8. 指定管理者制度の導入による効果と課題の検証

- 利用者数、利用料金収入とも順調に伸びており、指定管理者制度の導入効果が表れている。開館時間の設定、自主企画イベントや関係団体との共催イベントの実施など、指定管理者の運営手法によるもので高く評価できる。
- 平成27年度については、利用者数、利用料金ともに前年度に比べ同水準を維持している。新たなイベント等で更なる利用者の増加につなげていただきたい。
- 国の重要文化財指定を受け、県民のみならず国民の貴重な文化財として将来にわたり大切に保存していく必要がある。文化的価値を十分に活かした施設運営に期待する。
- 貸館施設としての運営及び観光施設としての運営という2本立てでの運営が必要であり、バランス配分が難しいところではあるが、更なる利用者の満足度向上に努めていただきたい。